

NIPPONの原点を学ぶ
三重の魅力発信セミナー
三重県生涯学習センター×皇學館大学

熊野 ブームと 聖地巡礼



写真提供：熊野本宮観光協会

2024年 10月18日(金) 19:00-20:30 (開場 18:30)

三重テラス 三重テラス 2階 コミュニティスペース
MIE TERRACE (東京都中央区日本橋室町 2-4-1 浮世小路千足屋ビル「YUITO ANNEX」)

講師：板井 まさなり さん (皇學館大学 文学部 神道学科 教授)

事前申込制・先着順 | 受講無料

① 講座名 ② 名前(ふりがな) ③ 電話番号 を明記して、
電話・FAX・ホームページ・郵送のいずれかで三重県生涯学習センターへお申込みください。
※ 受講はがきなどは送付いたしません。※ 万一、ご都合が悪くなった場合はキャンセルの連絡をお願いします。
※ 未就学児の入場はご遠慮ください。 ※ 諸般の事情により、やむを得ず講座を中止する場合があります。

受講
無料



お申込みは
こちら

最近の神社ブーム。
その特徴のひとつに、若者世代の参拝を
あげることができます。
なぜ、若者は神社を目指すのでしょうか。
そこには聖地をめぐる意味に現代的な変容と
普遍的な価値を見ることが出来ます。
今回は世界遺産登録20周年を迎えた
熊野を事例に、
若者の道中記と歴史的な史料を
読み比べながら考えてみましょう。

問
合
・
申
込

MIE CENTER FOR THE ARTS

三重県総合文化センター 三重県生涯学習センター

TEL 059-233-1151 / FAX 059-233-1155

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234

開館時間 9:00 ~ 19:00 月曜休館 (月曜日が祝休日の場合はその翌平日が休館日)



聖地巡礼ブームと熊野

NIPPONの原点を学ぶ 三重の魅力発信セミナー 三重県生涯学習センター × 皇學館大学

講座概要

最近の神社ブーム。
その特徴のひとつに、若者世代の参拝をあげることができます。
なぜ、若者は神社を目指すのでしょうか。
そこには聖地をめぐる意味に現代的な変容と普遍的な価値を見ることができます。
今回は世界遺産登録20周年を迎えた熊野を事例に、若者の道中記と歴史的な史料を読み比べながら考えてみましょう。

2024年 10月18日(金)
19:00-20:30 (開場 18:30)

受講
無料

三重テラス 2階 コミュニティスペース
(東京都中央区日本橋室町 2-4-1
浮世小路千足屋ビル「YUITO ANNEX」2階)

事前申込制・先着順／受講無料
電話・FAX・ホームページ・郵送にて受付



申込はこちらから



[三重テラスについてのお問い合わせは 03-5542-1035まで]

問
合
・
申
込



三重県総合文化センター

三重県生涯学習センター

TEL 059-233-1151 / FAX 059-233-1155

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234

開館時間 9:00 ~ 19:00 月曜休館 (月曜日が祝休日の場合はその翌平日が休館日)



web サイト



講師プロフィール

いたい まさなり

板井 正斉さん (皇學館大学 文学部 神道学科 教授)



昭和48年 大分県生
平成12年 皇學館大学大学院文学研究科修士課程神道学専攻修了
平成13年 ドイツ・ボン大学日本文化研究所客員研究員
平成14年～ 皇學館大学社会福祉学部助手・講師・准教授
平成23年～ 皇學館大学現代日本社会学部准教授
平成27年～ 皇學館大学教育開発センター准教授・副センター長(COC担当)
令和 2年～ 皇學館大学文学部神道学科教授



宗教社会学
宗教民俗学
地域文化論



著書

単著『ささえあいの神道文化』(弘文堂)
共編著『ケアと宗教』(明石書店) / 共著『聖地巡礼ツーリズム』(弘文堂)
共著『宗教・エスニシティ』(岩波書店) ほか



三重県生涯学習センターのご案内

三重県における生涯学習の拠点として平成6年に開館し、今年開館30周年を迎えました。現在、年間180回の講座や研修会、小学校等での文化体験授業などを実施し、合計1万数千人の方に参加していただいています。多様な専門家との連携や協働を重視していますが、中でも高等教育機関やミュージアムとの連携は高度な学習機会の提供につながり、学習拠点としての役割を發揮しています。また、事業の半数近くが地域へ出かけるアウトリーチ事業で地域支援事業、人材育成事業にも力を入れています。



皇學館大学のご案内

皇學館大学は、伊勢の神宮における長い神道研究の伝統を源流としていますが、明治15年、神宮祭主久邇宮朝彦親王の令達によって、神宮の学習所である林崎文庫に開設された「皇學館」を直接の起源としています。明治33年に神宮祭主の賀陽宮邦憲王からいただいた令旨には、わが国の歴史に根差した道義と学問とを学び、実際の社会の中で実践して、文明の発展に貢献するという、まさしく本学の建学の精神が記されています。その根本精神は、現在も皇學館大学の中に脈々と受け継がれています。